

既指定地域における評価書案 <阿倍野地域(H14.7指定)>

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現
記載事項	<p>【大阪都市計画区域マスタープラン(R2策定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業は、その前身の市街地改造事業として大阪駅前地区等で完了しており、市街地再開発事業に移行後、阿倍野地区等で完了している。市街地の開発にあたっては、地域の特性や実情にあわせて、区画整理や再開発等のさまざまな手法を活用するとともに、住民の協力を得ながら官民一体となった取組を進め、本区域の全体を対象に市街地の計画的な更新を積極的に図る。 関西の発展をリードする新しいまちの形成を図るため、既存の都市基盤のストックを活かしつつ、幅広い雇用を創出していく拠点を形成することで、関西の都市再生を牽引する国際競争力の高い中枢都市機能の集積をめざす。 <p>【大阪のまちづくりグランドデザイン(R2策定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪の南の玄関口として、関西国際空港や兵庫・奈良・和歌山に加え、新大阪・京都方面など様々な地域に直結する主要鉄道のハブ機能や、食文化やエンターテインメントをはじめ歴史・文化・芸能など様々な観光資源を活かしながら、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進め、多様な人々が交流し・働き・住むことができるまちづくりを推進し、大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点エリアの形成をめざす。 	<p>【都市開発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○完了 <ul style="list-style-type: none"> ・and(H20.9竣工) ・あべのキューズタウン(H23.3竣工) ・あべのハルカス(H26.3竣工) 等 ○未着手 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)あべの東口計画(未定) <p>【公共施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○完了 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪都市計画道路 I 1・2号尼崎平野線(H28.9竣工) ・阿倍野再開発2号公園(H26.3竣工) 等 ○事業中 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪都市計画道路 長柄堺線(R12.3竣工予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口(地域内) <ul style="list-style-type: none"> ・2,552人(H17)→3,175人(R6) :約124%(市区全域:約105%) ○世帯数(地域内) <ul style="list-style-type: none"> ・1,164世帯(H17)→1,635世帯(R6) :約140%(市区全域:約133%) ○地価(地域内) <ul style="list-style-type: none"> ・209万円/㎡(H25)→352万円/㎡(R5) :約168%(市区内商業地平均価格:約120%)

項目別評価	上位計画及び関連計画で示された方針が、都市再生緊急整備地域としての地域整備方針に落とし込まれており、今後のまちづくりの方向性が明確に示されている。	都市開発事業は概ね完了しているが、あべの東口や緊急整備地域に隣接するエリアにおいて都市再開発事業が見込まれている。	人口、世帯数、地価等において、都市再生の効果の発現が全ての指標で確認できている。
-------	---	---	--

総合評価	<p>現在、進捗している都市開発事業はなく、整備の目標の実現が図られつつある。</p> <p>一方で、都市再生緊急整備地域に隣接するエリアや区域内外をまたがるエリアで新たな都市再開発事業の検討が行われていることから、次回評価時に、事業の具体化の進捗を踏まえ、地域の拡大を含め地域指定の継続等について判断する。</p>	⇒	<p>地域指定の継続 (ただし、R10年度に再度評価を実施)</p>
------	--	---	---